



2025年9月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2025年8月12日

上場会社名 株式会社アサカ理研 上場取引所 東
コード番号 5724 URL <https://www.asaka.co.jp/>
代表者 （役職名）代表取締役社長 （氏名）山田 浩太
問合せ先責任者 （役職名）上席執行役員 管理本部長 （氏名）巨海 隆 TEL 024-944-4744
配当支払開始予定日 —
決算補足説明資料作成の有無： 無
決算説明会開催の有無： 無

（百万円未満切捨て）

1. 2025年9月期第3四半期の連結業績（2024年10月1日～2025年6月30日）

（1）連結経営成績（累計）

（％表示は、対前年同四半期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	％	百万円	％	百万円	％	百万円	％
2025年9月期第3四半期	6,367	6.9	324	26.4	292	22.0	210	△38.6
2024年9月期第3四半期	5,955	△5.9	256	△27.9	239	△31.1	342	24.2

（注）包括利益 2025年9月期第3四半期 198百万円（△51.9％） 2024年9月期第3四半期 413百万円（39.7％）

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2025年9月期第3四半期	41.82	—
2024年9月期第3四半期	68.32	—

（2）連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	％	円 銭
2025年9月期第3四半期	13,396	4,817	35.7	950.45
2024年9月期	8,543	4,649	54.0	919.20

（参考）自己資本 2025年9月期第3四半期 4,777百万円 2024年9月期 4,609百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2024年9月期	—	0.00	—	8.00	8.00
2025年9月期	—	0.00	—		
2025年9月期（予想）				8.00	8.00

（注）直近に公表されている配当予想からの修正の有無： 無

3. 2025年9月期の連結業績予想（2024年10月1日～2025年9月30日）

（％表示は、対前期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	％	百万円	％	百万円	％	百万円	％	円 銭
通期	9,230	15.8	440	49.9	290	8.6	220	△40.8	43.87

（注1）直近に公表されている業績予想からの修正の有無： 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における連結範囲の重要な変更： 無

新規 ー社 (社名) ー、除外 ー社 (社名) ー

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用： 有

(注) 詳細は、添付資料 9 ページ「2. 四半期連結財務諸表及び主な注記 (3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 (四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理に関する注記)」をご覧ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更： 有

② ①以外の会計方針の変更： 無

③ 会計上の見積りの変更： 無

④ 修正再表示： 無

(注) 詳細は、添付資料 8 ページ「2. 四半期連結財務諸表及び主な注記 (3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 (会計方針の変更に関する注記)」をご覧ください。

(4) 発行済株式数 (普通株式)

① 期末発行済株式数 (自己株式を含む)	2025年 9 月期 3 Q	5,144,600株	2024年 9 月期	5,144,600株
② 期末自己株式数	2025年 9 月期 3 Q	117,773株	2024年 9 月期	129,498株
③ 期中平均株式数 (四半期累計)	2025年 9 月期 3 Q	5,022,073株	2024年 9 月期 3 Q	5,011,040株

※ 添付される四半期連結財務諸表に対する公認会計士又は監査法人によるレビュー： 無

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料 3 ページ「1. 経営成績等の概況 (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 経営成績等の概況	2
(1) 当四半期の経営成績の概況	2
(2) 当四半期の財政状態の概況	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(会計方針の変更に関する注記)	8
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理に関する注記)	9
(セグメント情報等の注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	10
(四半期連結キャッシュ・フロー計算書に関する注記)	10

1. 経営成績等の概況

(1) 当四半期の経営成績の概況

当第3四半期連結累計期間におけるわが国経済は、物価上昇の継続による景気の減速が懸念されながらも、雇用や所得環境の緩やかな改善に伴う個人消費の増加基調及び企業収益の改善により、緩やかに回復しました。一方、米国の政策運営を巡る不透明感の高まりや地政学リスクに伴うエネルギー・資源価格の高騰等により、経済の不確実性が続いています。

当社グループにおいては、主要製品である貴金属のうち、金は米国による関税強化への不安感や紛争に伴う安全資産としての需要の高まりにより、ドル建て価格は過去最高値を更新する高い水準で推移し、円建て価格も前年同四半期を上回りました。銅の価格は、生産国からの供給不安や米国による関税強化の動きが見られたことが影響し、ドル建て価格は高い水準で推移し、円建て価格も前年同四半期を上回りました。

このような事業環境の中、既存事業では当社の技術力を活かした独自性のある商品提供による取引市場の拡大及び収益力向上に努めました。また、製造工程の効率化によるコスト低減を強みとした新規開拓にも注力しております。

新規事業では、リチウムイオン電池（以下、LiB:Lithium-ion Battery）再生事業の事業化に向け、研究開発及び電池メーカーとの事業スキーム確立に向けた協業に注力しました。研究開発においては、CO₂排出量の削減とレアメタルの高回収率を両立するプロセスを構築し、プロセスの安定化や生産効率向上のための研究と平行して当社いわき工場への生産設備の導入を進めております。なお、生産効率の大幅な向上や生産稼働の安定化を目的に2025年5月に本事業への設備投資額を25億円増額し、総額95億円とすることを意思決定しております。事業スキームの確立につきましては、電池メーカーの工場において排出される工程廃材リサイクルの一部を当社が受託する覚書（MOU）に基づくビジネスモデルの実現に向けた対応を継続しております。本事業は2028年4月の量産稼働開始に向けて順調に進捗しております。

当第3四半期連結累計期間の連結業績は売上高6,367百万円（対前年同四半期6.9%増）、営業利益324百万円（同26.4%増）、経常利益292百万円（同22.0%増）、親会社株主に帰属する四半期純利益は210百万円（同38.6%減）でした。電子部品の需要低下に伴う取引先の減産基調が継続するも、金及び銅の相場上昇等により前年同四半期比較で売上高は増収となり営業利益と経常利益は増益となりました。一方で前年に補助金収入による特別利益の計上があったことから、親会社株主に帰属する四半期純利益は減益となっております。

各セグメントの経営成績は、次のとおりです。なお、売上高については、セグメント間取引の消去前の数値であり、セグメント利益については、セグメント間取引の消去後の数値であります。また、間接部門の経費負担には、LiB再生事業における研究開発費用を含んでおります。

(貴金属事業)

主要製品の金の価格が前期を上回ったことで、売上高は5,299百万円（対前年同四半期6.9%増）となりました。一方で研究開発費等の間接部門の経費負担の増加により、セグメント利益は176百万円（同6.6%減）の増収減益となりました。

(環境事業)

主要製品である銅の価格が前期を上回ったことで、売上高は902百万円（同2.4%増）、セグメント利益は66百万円（同12.9%増）の増収増益となりました。

(システム事業)

主力製品である品質管理システムの販売が増加したことにより、売上高は151百万円（同49.7%増）、セグメント利益は19百万円（前年同四半期は34百万円の損失）の増収増益となりました。

(その他)

その他に含まれる運輸事業等は、連結グループ内の取引額の増加により、売上高は257百万円（対前年同四半期1.1%増）、セグメント利益は29百万円（同16.4%増）の増収増益となりました。

(2) 当四半期の財政状態の概況

当第3四半期連結会計期間末における資産、負債及び純資産の状況は、以下のとおりです。

(資産の部)

前連結会計年度末に比べて4,852百万円増加し、13,396百万円となりました。

主な要因は、現金及び預金が2,843百万円、棚卸資産が923百万円、建設仮勘定が1,064百万円増加し、その他(投資その他の資産)が144百万円減少したことです。

(負債の部)

前連結会計年度末に比べて4,685百万円増加し、8,579百万円となりました。

主な要因は、借入金が3,748百万円、借入金地金が900百万円増加したことです。

(純資産の部)

前連結会計年度末に比べて167百万円増加し、4,817百万円となりました。

主な要因は、利益剰余金が169百万円増加したことです。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2025年9月期の通期連結業績予想につきまして、現時点においては2024年11月12日公表の当初予想を変更しておりません。今後の進捗状況を踏まえ、修正が必要な場合は適時適切に開示いたします。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2024年9月30日)	当第3四半期連結会計期間 (2025年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,517,954	4,361,363
受取手形及び売掛金	431,369	483,134
電子記録債権	34,334	34,871
商品及び製品	896,589	1,930,974
仕掛品	674,672	615,518
原材料及び貯蔵品	108,679	57,167
その他	60,701	113,516
流動資産合計	3,724,301	7,596,546
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	2,797,422	2,866,502
減価償却累計額	△1,503,832	△1,580,755
建物及び構築物（純額）	1,293,590	1,285,747
機械装置及び運搬具	2,646,422	2,844,807
減価償却累計額	△2,195,205	△2,297,814
機械装置及び運搬具（純額）	451,217	546,993
土地	1,362,987	1,362,987
リース資産	38,118	38,118
減価償却累計額	△26,222	△29,538
リース資産（純額）	11,895	8,579
建設仮勘定	1,119,934	2,184,878
その他	244,610	262,006
減価償却累計額	△202,164	△212,995
その他（純額）	42,446	49,010
有形固定資産合計	4,282,071	5,438,197
無形固定資産	77,199	58,261
投資その他の資産		
投資有価証券	195,189	182,202
繰延税金資産	1,266	1,068
退職給付に係る資産	77,616	78,963
その他	196,158	51,317
貸倒引当金	△10,108	△9,900
投資その他の資産合計	460,123	303,652
固定資産合計	4,819,394	5,800,111
資産合計	8,543,696	13,396,658

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2024年9月30日)	当第3四半期連結会計期間 (2025年6月30日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	238,513	235,553
短期借入金	202,280	202,280
1年内償還予定の社債	130,000	—
リース債務	4,862	4,450
未払法人税等	43,693	19,428
借入金地金	762,605	1,663,558
賞与引当金	163,554	108,369
その他	365,298	488,247
流動負債合計	1,910,808	2,721,886
固定負債		
社債	200,000	330,000
長期借入金	1,276,606	5,024,896
リース債務	8,163	4,928
繰延税金負債	156,629	156,079
長期未払金	286,611	285,153
退職給付に係る負債	517	964
資産除去債務	54,669	55,394
固定負債合計	1,983,197	5,857,417
負債合計	3,894,006	8,579,304
純資産の部		
株主資本		
資本金	504,295	504,295
資本剰余金	369,363	365,741
利益剰余金	3,756,365	3,926,273
自己株式	△142,124	△129,248
株主資本合計	4,487,900	4,667,061
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	121,102	108,901
繰延ヘッジ損益	114	1,227
退職給付に係る調整累計額	768	573
その他の包括利益累計額合計	121,985	110,702
新株予約権	39,804	39,590
純資産合計	4,649,690	4,817,354
負債純資産合計	8,543,696	13,396,658

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
(四半期連結損益計算書)
(第3四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2023年10月1日 至 2024年6月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2024年10月1日 至 2025年6月30日)
売上高	5,955,794	6,367,791
売上原価	4,223,406	4,410,596
売上総利益	1,732,387	1,957,194
販売費及び一般管理費	1,475,524	1,632,466
営業利益	256,863	324,727
営業外収益		
受取利息	1,255	10,614
受取配当金	189	251
受取賃貸料	1,966	1,233
貸倒引当金戻入額	—	208
物品売却益	1,046	20,344
為替差益	1,872	1,186
保険解約返戻金	—	67,240
その他	5,884	4,300
営業外収益合計	12,215	105,378
営業外費用		
支払利息	14,424	41,898
地金借入料	12,157	28,918
支払手数料	1,537	64,794
その他	1,330	2,073
営業外費用合計	29,449	137,684
経常利益	239,629	292,421
特別利益		
補助金収入	243,800	—
固定資産売却益	—	846
新株予約権戻入益	214	214
特別利益合計	244,014	1,060
特別損失		
固定資産除却損	1,991	579
減損損失	—	28,469
特別損失合計	1,991	29,049
税金等調整前四半期純利益	481,652	264,432
法人税等	139,321	54,404
四半期純利益	342,330	210,028
親会社株主に帰属する四半期純利益	342,330	210,028

(四半期連結包括利益計算書)

(第3四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2023年10月1日 至 2024年6月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2024年10月1日 至 2025年6月30日)
四半期純利益	342,330	210,028
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	70,542	△12,201
繰延ヘッジ損益	362	1,113
退職給付に係る調整額	△167	△195
その他の包括利益合計	70,738	△11,283
四半期包括利益	413,069	198,744
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	413,069	198,744
非支配株主に係る四半期包括利益	—	—

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(会計方針の変更に関する注記)

(「法人税、住民税及び事業税等に関する会計基準」等の適用)

「法人税、住民税及び事業税等に関する会計基準」(企業会計基準第27号 2022年10月28日。以下「2022年改正会計基準」という。)等を第1四半期連結会計期間の期首から適用しております。

法人税等の計上区分(その他の包括利益に対する課税)に関する改正については、2022年改正会計基準第20-3項ただし書きに定める経過的な取扱い及び「税効果会計に係る会計基準の適用指針(企業会計基準適用指針第28号 2022年10月28日。以下「2022年改正適用指針」という。)第65-2項(2)ただし書きに定める経過的な取扱いに従っております。なお、当該会計方針の変更による四半期連結財務諸表への影響はありません。

また、連結会社間における子会社株式等の売却に伴い生じた売却損益を税務上繰り延べる場合の連結財務諸表における取扱いの見直しに関連する改正については、2022年改正適用指針を第1四半期連結会計期間の期首から適用しております。当該会計方針の変更は、遡及適用され、前四半期連結会計期間及び前連結会計年度については遡及適用後の四半期連結財務諸表及び連結財務諸表となっております。なお、当該会計方針の変更による前年四半期連結会計期間の四半期連結財務諸表及び前連結会計年度の連結財務諸表への影響はありません。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理に関する注記)

(税金費用の計算)

税金費用については、当第3四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

(セグメント情報等の注記)

【セグメント情報】

I 前第3四半期連結累計期間（自 2023年10月1日 至 2024年6月30日）

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位：千円)

	報告セグメント				その他 (注) 1	合計 (注) 2
	貴金属事業	環境事業	システム事業	計		
売上高						
顧客との契約から生じる収益	4,959,069	881,377	101,340	5,941,787	14,007	5,955,794
外部顧客への売上高	4,959,069	881,377	101,340	5,941,787	14,007	5,955,794
セグメント間の内部売上高又は振替高	—	716	—	716	240,565	241,282
計	4,959,069	882,093	101,340	5,942,503	254,573	6,197,076
セグメント利益又は損失(△)	189,506	58,960	△34,196	214,270	25,358	239,629

(注) 1 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、運輸事業等であります。

2 セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の経常利益と一致しております。

II 当第3四半期連結累計期間（自 2024年10月1日 至 2025年6月30日）

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位：千円)

	報告セグメント				その他 (注) 1	合計 (注) 2
	貴金属事業	環境事業	システム事業	計		
売上高						
顧客との契約から生じる収益	5,299,280	902,517	151,727	6,353,526	14,265	6,367,791
外部顧客への売上高	5,299,280	902,517	151,727	6,353,526	14,265	6,367,791
セグメント間の内部売上高又は振替高	—	390	—	390	243,204	243,595
計	5,299,280	902,907	151,727	6,353,916	257,469	6,611,386
セグメント利益	176,999	66,545	19,366	262,911	29,510	292,421

(注) 1 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、運輸事業等であります。

2 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の経常利益と一致しております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

「貴金属」セグメントにおいて1,820千円、「その他」の区分において649千円、報告セグメントに帰属しない全社資産において26,000千円の減損損失を計上しております。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

当社は、2024年12月20日開催の取締役会決議に基づき、譲渡制限付株式報酬としての自己株式11,760株の処分を行っております。この結果、単元未満株式の買取により取得した株式数を含め、当第3四半期連結累計期間において自己株式が12,875千円減少し、当第3四半期連結会計期間末において自己株式が129,248千円となっております。

(四半期連結キャッシュ・フロー計算書に関する注記)

当第3四半期連結累計期間に係る四半期連結キャッシュ・フロー計算書は作成しておりません。なお、第3四半期連結累計期間に係る減価償却費（無形固定資産に係る償却費を含む。）は、次のとおりであります。

	前第3四半期連結累計期間 (自 2023年10月1日 至 2024年6月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2024年10月1日 至 2025年6月30日)
減価償却費	220,031千円	245,922千円